

医療従事者向け 新型コロナウイルスワクチンの接種について

神奈川県医療危機対策本部室

2021年5月22日

神奈川県訪問看護ステーション協議会

接種状況

57,876回
(4月7日時点)



315,055回 (5月18日現在)

うち1回目接種: 210,229回 (82.8%)

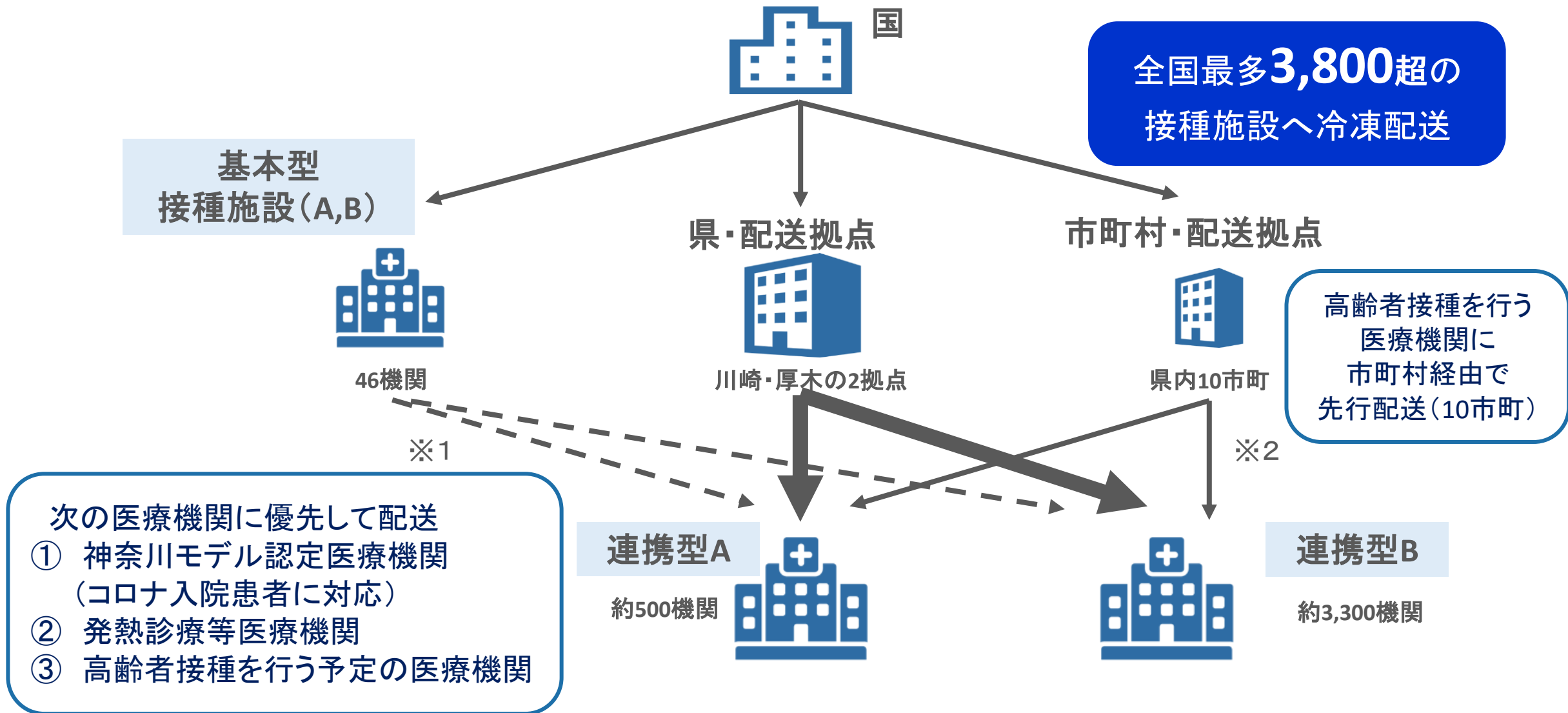
2回目接種: 104,826回 (41.3%)



医療従事者の接種率

= (現時点での総接種回数) ÷ (接種対象者数 × 2回)

= 315,055回 ÷ (253,805人 × 2回) = 62.0%

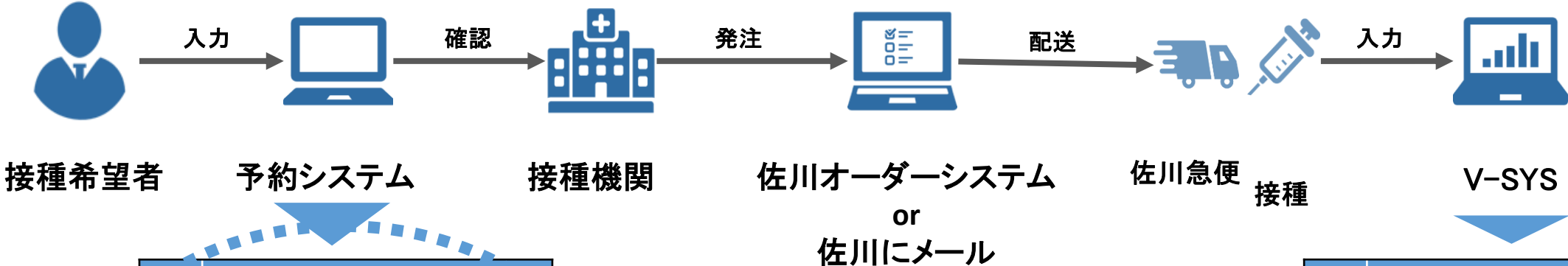


※1...基本型接種施設の在庫について、必要に応じて県の転送調整チームが仲介して融通 (破線)
※2...1つの連携型接種施設は、県または市町村の配送拠点のどちらか一方からのみ配送を受ける

他院接種の流れ（予約～接種まで）

自院接種者（連携型接種施設A、B）

他院接種者（連携型接種施設A）



	項目
1	氏名
2	生年月日
3	電話番号
4	管理番号（県独自10桁）
5	接種会場
6	ワクチンの種類
7	予約希望日

	項目
1	保健医療機関番号
2	注文バイアル数

	項目
1	ワクチンの種類
2	基本型接種施設名（融通元）
3	ワクチンの受取日
4	ワクチンのロット番号
5	受け取ったバイアル本数
6	接種数（累計）
7	廃棄数

○会場選択画面

新型コロナウイルス ワクチン 接種予約サイト
神奈川県

[接種会場検索](#)

[詳細検索に切り替え](#)

接種会場

会場名を入力してください

絞り込み

会場表示: 152件

[illegible]

■ 接種会場

■ 予約日時

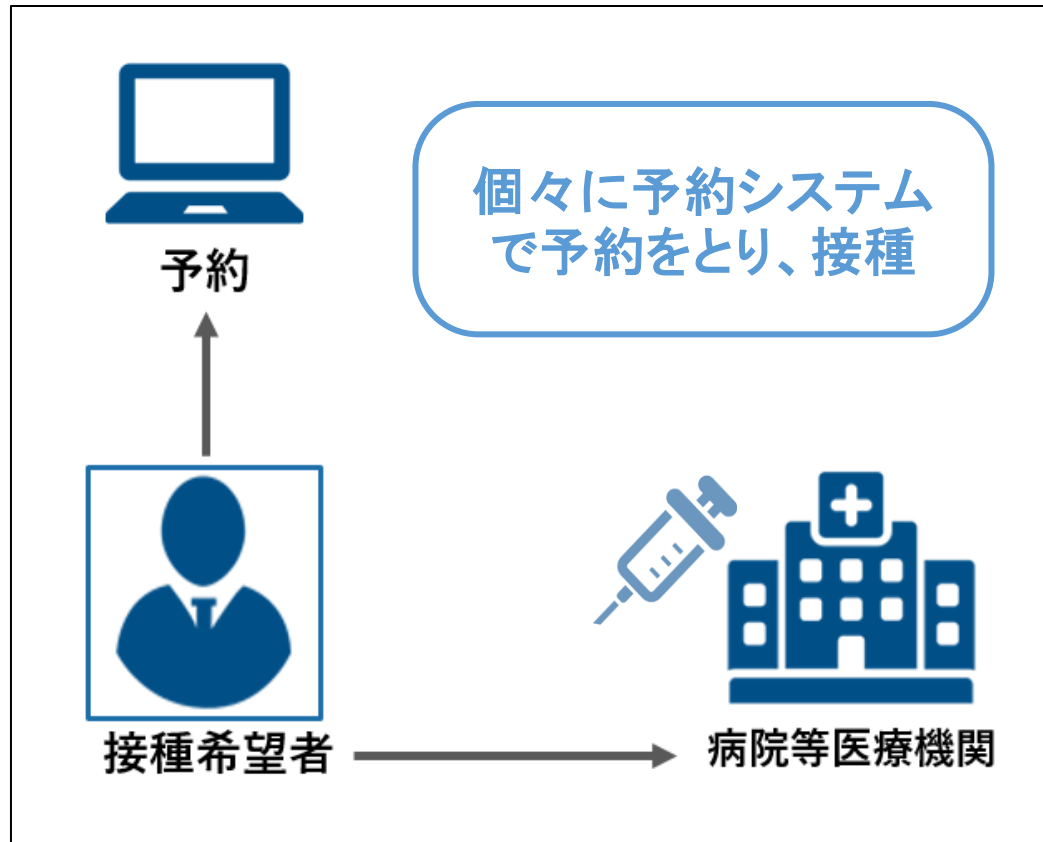
5

医療従事者接種の見通し

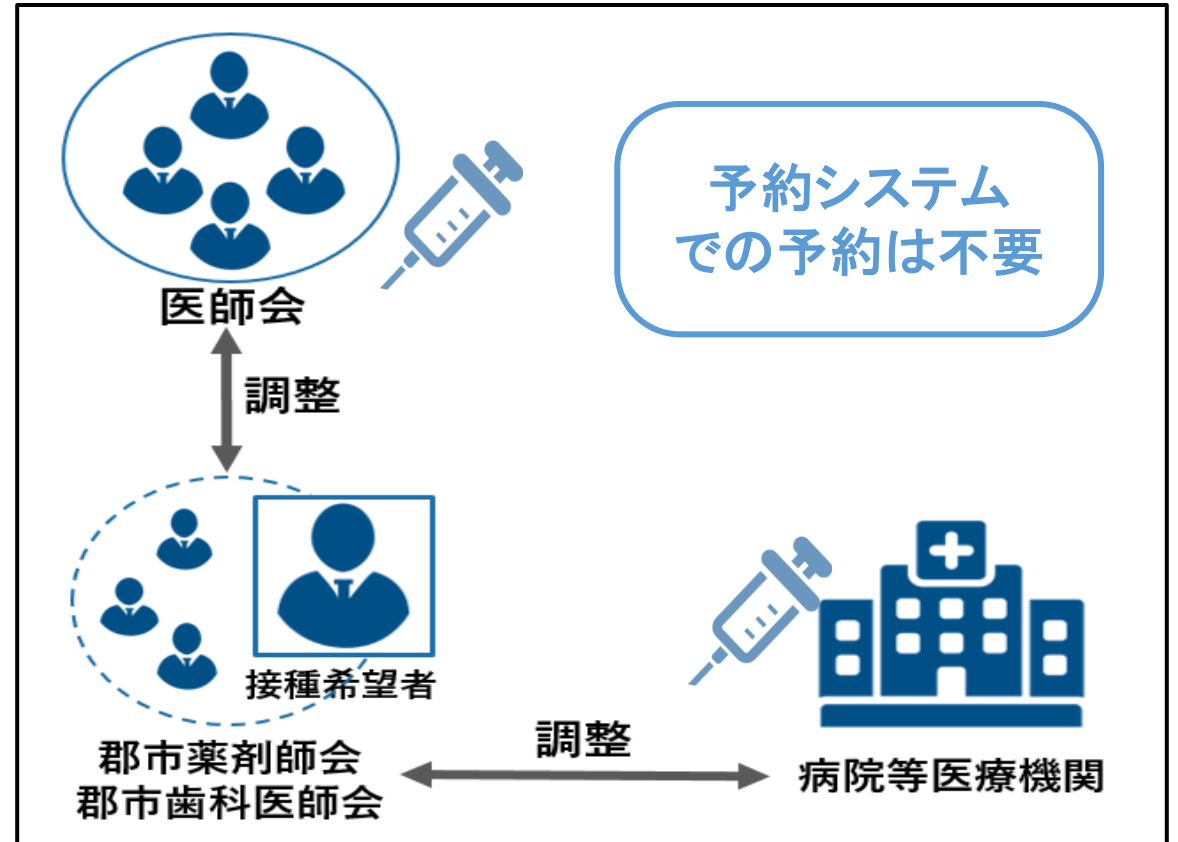
接種 対象者	3月	4月	5月	6月	7月
医療従事者	●3/1～(対象:約5.5万人) 自院接種(基本型)				6月で概ねの接種完了 未接種者(新規採用者など)の接種場所について、今後準備予定
		●4/19～(対象:約14.5万人) 自院接種(連携型)			
			●5/12～(対象:約6万人) 他院接種(基本型・連携型)		
住民 (高齢者)		●4/5～(対象:231万人) 住民接種(高齢者接種)			

2つの他院接種

通常他院接種



団体他院接種



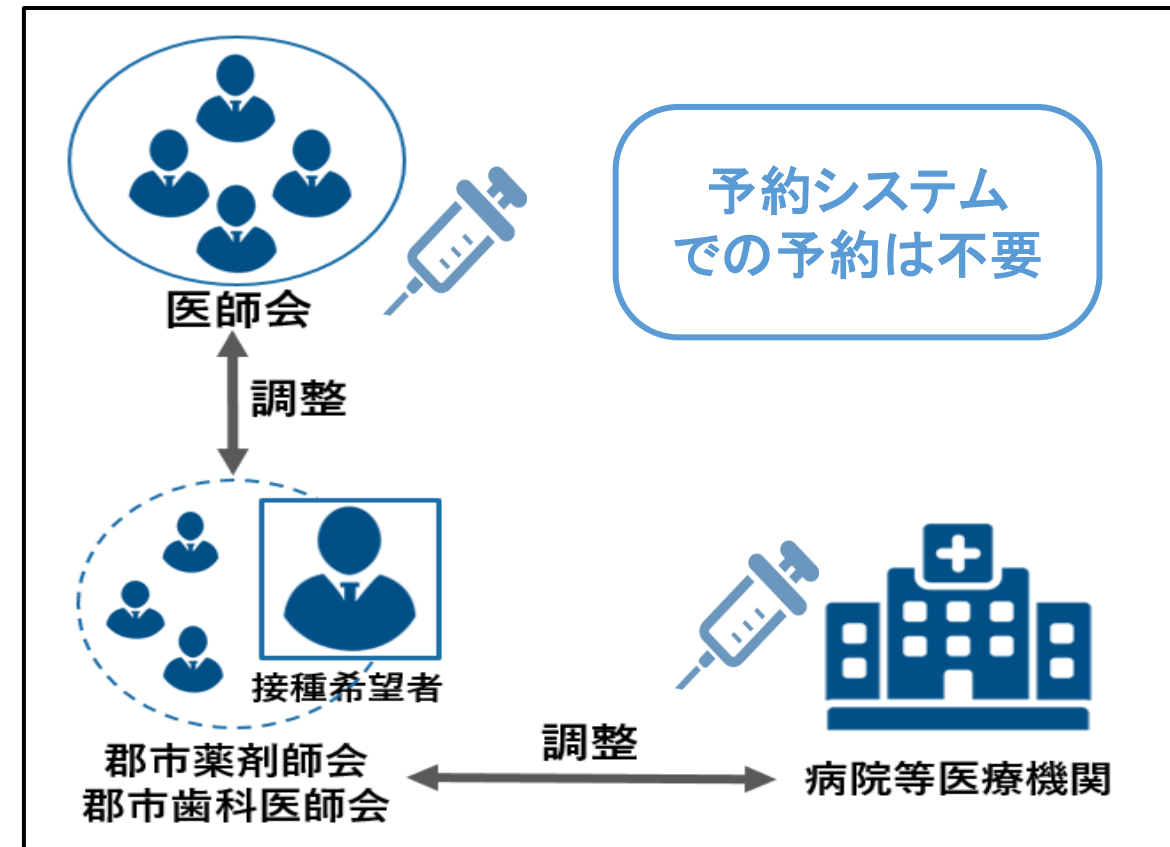
団体(※)が今後、調整した接種施設で団体会員がまとめて接種を受ける「団体他院接種」を希望する場合、ご希望があれば、県から接種先として可能であると確認がとれた医療機関等をご紹介します。

必要な新型コロナワクチンは県から当該接種施設に供給します。

※郡市区の歯科医師会、薬剤師会など。
→助産師会、訪問看護ST協議会等も可能。

マッチングの相談・問合せ先
神奈川県 医療危機対策本部室(ワクチンチーム)
(電話)045-285-0717
(担当)馬場、熊崎、鈴木(浩介)
(mail) iryoukiki.vaccine.md4g@pref.kanagawa.jp

団体他院接種





【神奈川県 作成】 ★一般非公開

リンク先(YouTube) <https://www.youtube.com/watch?v=-3JstCCVr9M>

①感染対策の基礎



神奈川県看護協会

感染対策の基礎知識

感染管理認定看護師 吉村 靖史

【神奈川県看護協会 作成】

リンク先(YouTube) <https://www.youtube.com/watch?v=iaW073JN7E8>

神奈川県看護協会

新型コロナウイルスの感染対策

感染管理認定看護師
特定行為看護師（感染）
武田 理恵



【神奈川県看護協会 作成】

リンク先(YouTube) <https://www.youtube.com/watch?v=iJg3nde5jWs>

在宅でのPCR検体採取方法

神奈川県看護協会
感染管理認定看護師
吉村靖史
武田理恵

【神奈川県看護協会 作成】

リンク先(YouTube) <https://www.youtube.com/watch?v=3ETjOkW9p00>

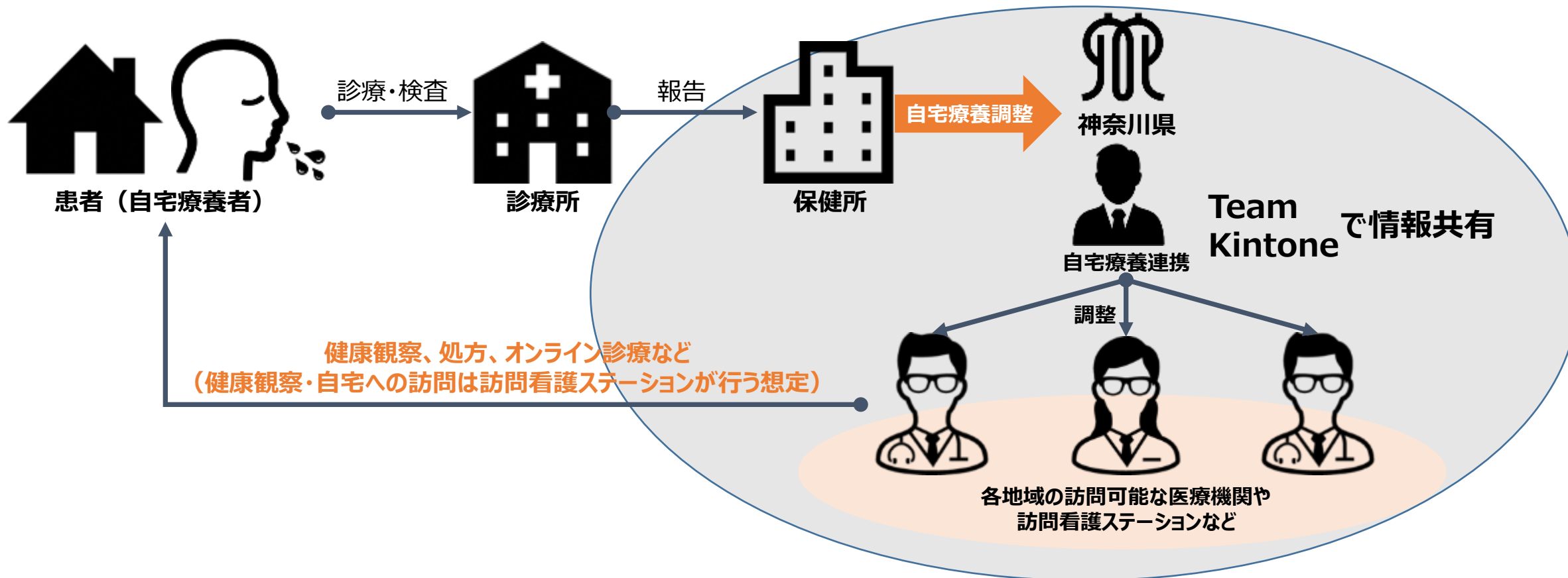


「地域療養の神奈川モデル」 ～進捗状況～

2021/05/22
医療危機対策本部室

自宅療養患者を「医療視点」で診るモデルへ

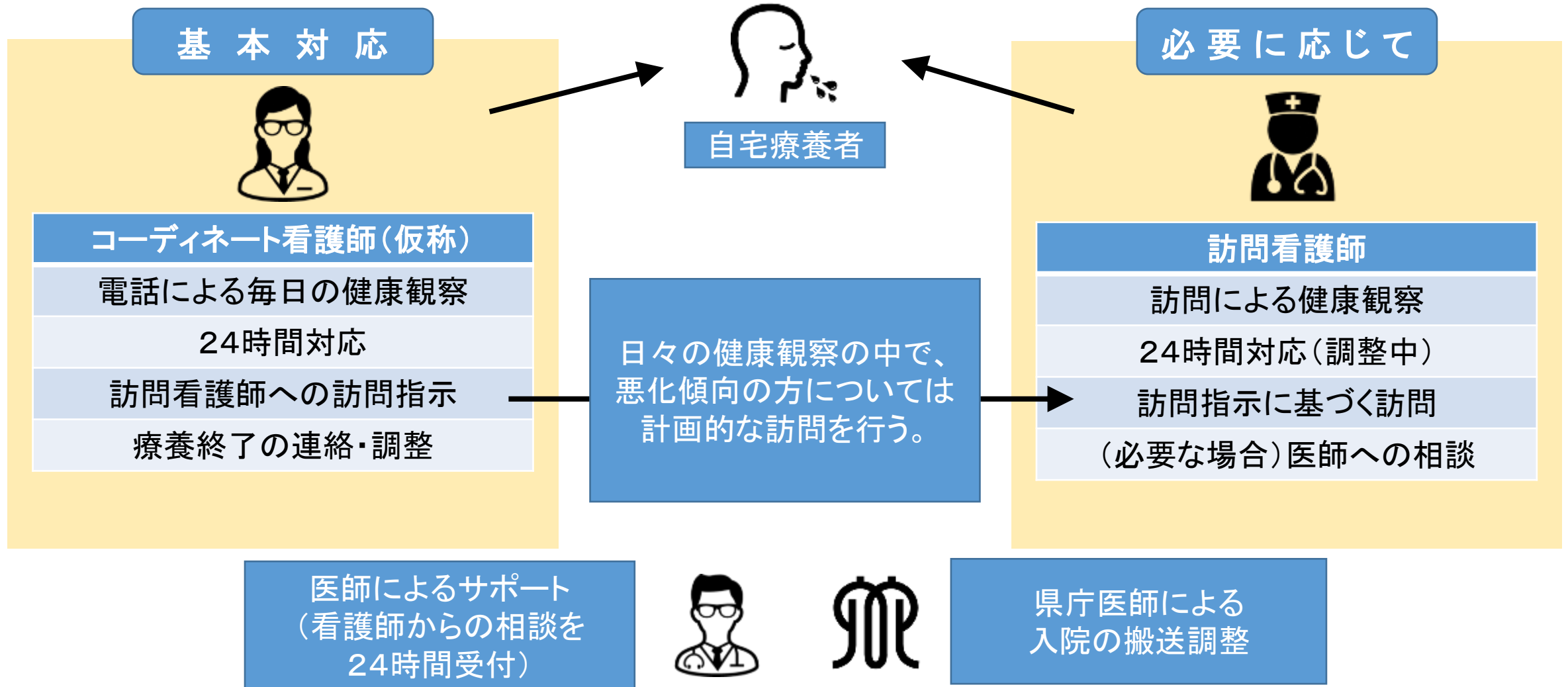
悪化リスクのある患者、悪化が疑われる患者の早期医療介入を可能とする新体制を目指します。



- ① 一定条件（ハイリスク・SpO₂低下）の患者を全員対象にする
- ② 訪問看護と医師会等（医師）診療がセット化された仕組み
- ③ 県が保健所設置市と連携し、制度の運用を目指す

「地域療養の神奈川モデル」の仕組み

電話による健康観察を基本とし、**悪化傾向の方を早めに見つける**ための訪問を計画的に行う



【藤沢市の状況】

3月23日から先行実施を開始。**広域事業者を参加させる形での実施。**

（3月23日から5月17日までの56日間の実績）

対象者数	対応実績			
	看護師訪問	オンライン診療	医師訪問	入院搬送
99名	47件	53件	0名	25名

【鎌倉市の状況】

5月11日から事業を開始。**地元の訪問看護師が主体となつての実施。**

（5月11日から5月17日までの7日間の実績）

対象者数	対応実績			
	看護師訪問	オンライン診療	医師訪問	入院搬送
5名	3件	3件	3名	3名

【他の地域の調整状況】

現在、地域の医師会や訪問看護ステーション等とそれぞれの地域特性を踏まえて、どのような枠組みが適しているか調整を進めている。

調整が整った地域から順次導入し、保健所設置市も含めて全県に展開していく。

【現場の感触や課題】

感触	課題
・実際の現場対応が玄関先での対応であり、想定よりも安全に対応できる。 ・訪問調整の連絡を行ったうえで訪問するので、訪問する看護師の暴露リスクを最小限にしながら、短時間でスムーズに訪問が出来る。 ・特定の者が対応するため、療養者との信頼関係が生まれ、調整が行いやすい。	・既存の利用者がいる中で既存の利用者をまずは優先したい等、訪問看護ステーション毎に人員の状況などが異なる。 ・既存利用者や周囲からの風評被害に対する懸念がある。 ・PPE装着について療養者へ伝えてはいるが、遮蔽物の無い玄関先での着脱は近隣の方の目が気になる事がある。

事務連絡 令和3年5月14日

厚生労働省医政局他 発出

新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の 各学校、養成所及び養成施設等の対応について

（内容一部抜粋）

ワクチン接種やPCR 検査等について、実習施設側に対し、学校養成所等としての感染防護の取組状況や、学校養成所等側が行っている学内外での感染対策や実習前後での学生等への感染管理教育の内容等を説明し、検査等が実習の受入れの必須要件にならないよう、受入れ機関との対話を積極的に行うよう努めてください。

★看護学生等の実習受入について、御理解・御協力をお願いいたします★